

第 30 回ユニバーシアード競技大会（2019/ナポリ）

日本代表選手選考について（11月19日現在）

日本学生陸上競技連合（以下、日本学連）としての選考基本方針

第 30 回ユニバーシアード競技大会の選手団編成方針は、公益社団法人日本オリンピック委員会（JOC）が定めた派遣枠を基に、2020 東京オリンピック大会へ向けた重要な国際競技会と位置づけ、世界で活躍が期待される競技者、並びにメダル獲得が期待される競技者を選考し編成する。

1. 強化委員会が設定した標準記録を突破している者を選考対象とする。
2. 一般種目および混成競技は 2019 年日本グランプリ プレミアの成績を基に選考する。
3. 長距離種目は（男女 5000m、男女 10000m、男女ハーフマラソン、男女 20km 競歩）は指定選考競技会以外の競技結果以外は選考資料としないが一部例外を認める。また、道路競技における標準記録は原則として扱う。
※例外とは 2019 年世界陸上競技選手権標準記録突破者のことを指す。
4. ハーフマラソン代表は日本学生ハーフマラソンの上位 3 名を基本的に候補に内定し、4 位は補員とする。この補員はハーフ上位 3 名に対してとする。さらに辞退者が現れた場合は春季の選考競技会の結果からも選考する。ハーフマラソンは団体の部（上位 3 名の成績により順位づけ）でのメダル獲得も目指す。
5. 種目ごとの選手選考においては、過去の大会における入賞実績を考慮し、メダル獲得の可能性の高い種目を優先的に選考種目とする。

選考競技会および選考条件について

I. 選考競技会

1. ハーフマラソン

- ・第 22 回日本学生ハーフマラソン選手権大会（2019 年 3 月 10 日）
- ・第 22 回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（2019 年 3 月 17 日）

2. 競歩

- ・第 13 回日本学生 20km 競歩選手権大会（2019 年 3 月 17 日）

3. 長距離種目

- ・男女 10000m 第 69 兵庫リレーカーニバル（2019 年 4 月 21 日予定）
- ・男女 5000m 第 53 回織田幹雄記念国際陸上競技大会（2019 年 4 月 29 日予定）

4. 一般種目（上記以外の種目）

- ・2019 日本グランプリ プレミア

第 67 兵庫リレーカーニバル(2019 年 4 月 21 日予定)

第 53 回織田幹雄記念国際陸上競技大会(2019 年 4 月 29 日予定)

第 35 回静岡国際陸上競技大会(2019 年 5 月 3 日予定)

5. 混成競技

・TOKYO Combined Events Meet 2019 (2019 年 4 月 20 日～22 日予定)

6. 選考参考競技会

・第 87 回日本学生陸上競技対校選手権大会(神奈川・等々力)

II. 選考条件

1. 2019 年度日本学連登録競技者を選考対象とする。

(日本学連・普通会员の資格に関する規程参照)

但し、日本国籍を有し海外の大学に留学をしている場合はこの限りではない。

なお、ハーフマラソン、競歩に関しては主要選考競技会が前年度に開催されるが、2018 年度卒業生および修了生は選考対象外となる。

2. 強化委員会が過去のユニバーシアード競技結果をもとに設定した標準記録(VI. 2019 ユニバーシアード派遣標準記録を参照)を突破していることが前提条件である。

3. 派遣枠数については、派遣団体である日本オリンピック委員会(JOC)により決定される。日本学連は、標準記録を突破している競技者の中から JOC の示す派遣枠内で代表選手を推薦する。

ハーフマラソンおよび競歩に関しては最大 3 名(前回大会からの変更につき確認中)のエントリーが認められているが、他の一般種目は 1 種目 2 名以内と定められている。

4. 代表選手は、日本学連の理事会の承認を経て、JOC 理事会にて正式決定する。

5. 原則として I に示した上記選考競技会に出場し、特に優れた成績を収めた者を選考の対象とするが、国際試合等(国際陸上競技連盟 IAAF 関連の大会、日本代表選手として)に出場するため選考競技会に出場できない場合、競技実績や記録等から代表選手として選考することがある。

III. 標準記録有効期限

1. ハーフマラソンの標準記録有効期限を以下の通りとする。

男子:2018 年 1 月 1 日～2019 年 3 月 10 日

女子:2018 年 1 月 1 日～2019 年 3 月 17 日

2. 競歩の標準記録有効期限を以下の通りとする。

男子・女子:2018 年 1 月 1 日～2019 年 3 月 17 日

3. 一般種目(上記以外)は、日本オリンピック委員会(JOC)へのエントリー締め切り日の関係から標準記録有効期限を以下の通りとする。

男子・女子:2018年4月1日~2019年5月3日予定(静岡国際陸上終了日)

IV. 選考基準

1. ハーフマラソン

1) 標準記録を突破し、第22回日本学生ハーフマラソン選手権大会および第22回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会において上位に入賞した者の中から本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。

2) 5000m、10000mの選考競技会の結果、およびハーフマラソン選考競技会の結果から代表選手を追加することがある。その場合、女子はハーフマラソン選考競技会出場者のみを選考対象とする。

2. 競歩

標準記録を突破し、第13回日本学生20km競歩選手権大会において上位入賞した者の中から本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。

3. リレー種目

リレーチームの派遣は、リレーに関連する個人種目の競技成績を基にし、チーム編成・種目の兼ね合い等を考慮して選考を行う。なお、概ね関連する種目の標準記録を目安とする競技成績をもってリレーメンバーを選考する。

4. 上記(ハーフマラソン、競歩、リレー)以外の種目

派遣標準記録を突破した競技者で、本大会での入賞が期待できる競技者を選考する。ただし、派遣標準記録を突破しても選考されない場合がある。

V. その他

・候補選手として内定された後に本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できないと強化委員会が判断した場合には内定を取り消す。

・男女5000m、男女10000mの選考競技会への出場資格は日本陸連グランプリシリーズと同じとする。グランプリシリーズの中での選考レースとなるため、有資格者の上位者から出場組が分かれる場合がある。また、男子10000mにおいては、グランプリシリーズの参加標準記録を突破していなくても、日本学連の定めるユニバーシアード標準記録(28:45:0)を突破している者の上位者(10名程度)は出場ができる場合がある。

男子	種目	女子
<u>10.30</u>	100m	<u>11.65</u>
20.85	200m	<u>23.80</u>
<u>46.30</u>	400m	<u>53.00</u>
1:48.00	800m	<u>2:03.00</u>
3:43.0	1500m	4:15.0
13:43.0	5000m	<u>15:50.0</u>
28:45.0	10000m	<u>33:00.0</u>
1:04:00	ハーフマラソン	1:13:00
—	100mH	<u>13.35</u>
13.85	110mH	—
50.00	400mH	<u>57.80</u>
8:40.0	3000mSC	9:50.0
1:24:00	20kmW	1:36:00
—	4×100mR	—
—	4×400mR	—
<u>2m24</u>	走高跳	1m84
5m40	棒高跳	4m20
7m80	走幅跳	<u>6m35</u>
16m50	三段跳	13m60
<u>18m50</u>	砲丸投	15m50
57m00	円盤投	54m00
<u>70m00</u>	ハンマー投	63m50
<u>77m00</u>	やり投	56m00
—	七種競技	<u>5800点</u>
<u>7650点</u>	十種競技	—

下線____は第29回2017/台北大会から変更があった記録 6位入賞相当を想定

※男女ハーフマラソン・男女20kmWについては、第22回日本学生ハーフマラソン選手権大会(2019年3月10日/東京・立川市)、第22回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会(2019年3月17日/島根・松江市)、第13回日本学生20km競歩選手権大会(2019年3月17日/石川・能美市)の成績により、標準記録を突破していない選手を選考することがある。